



干し柿？いえ、干しカキです

2月17日、安楽島町のカキ筏^{いかだ}の上で、「干しカキ」が作られていました。2月から3月上旬ころにかけて、新鮮なカキを竹串に刺して3日ほど天日で干し、その後加熱殺菌を行って出荷されます。

干しカキの生産は全国的にも珍しく、天日干しの後、一回りも二回りも小さくなったカキは、その分旨味が凝縮されて、とても美味しい珍味ができ上がるそうです。

まちの話題 1月号



かもめ広場に決定！

鳥羽マリンターミナルに隣接する緑地公園の愛称が「かもめ広場」と決まりました。

愛称は昨年10月から11月にかけてマリンターミナル管理事務所が募集していたもので、応募総数90点の中から桃取町の田中麻奈さんが名付け親となりました。

田中さんは、「かもめの散歩道やかもめバスから思いつきました。たくさんの人に利用してほしいです」と話してくれました。



高台を目指して逃げろー！！

1月31日、答志小学校で全校生徒を対象にした避難訓練が市防災対策室や島の旅社の協力のもと、地元消防団、町内会、漁協、青少年育成会、PTAが連携して実施されました。

訓練は帰宅後や休日に児童だけで過ごす時間に地震が発生したと想定し、大人に頼れない状況で児童が自ら考え、自主的に避難する判断力を養うために放課後を利用して行われました。

午後3時に地震が発生し、その3分後に大津波警報発令の防災無線を聞いた児童たちは、事前に家族と話し合っていた避難場所へ走って逃げ、全員が避難を完了しました。集まった児童を前に木下雅博校長は「自分の命は自分で守ること」と話し、児童はみな真剣な表情で話を聞いていました。



協力し合って水を運ぼう！

2月1日、相差保育所にて、地震や火災を想定した避難・消火訓練が行われました。

訓練では、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報活動の一環として行っているコミュニティ助成事業の助成を受けて整備した訓練用の水消火器や組立型の水槽、消火用バケツを使用しました。

参加した職員らは、いざというときに迅速に行動できるよう、みな真剣な表情でバケツリレーや水消火器を用いた消火訓練に取り組んでいました。